

解体撤去

一部残置

解体撤去

一部残置

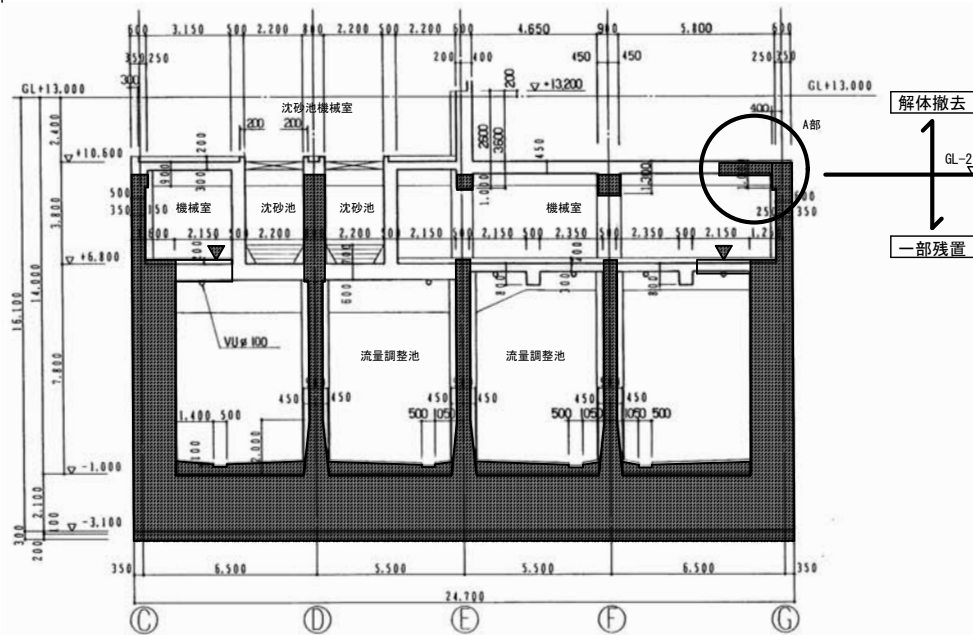
解体撤去

一部残置

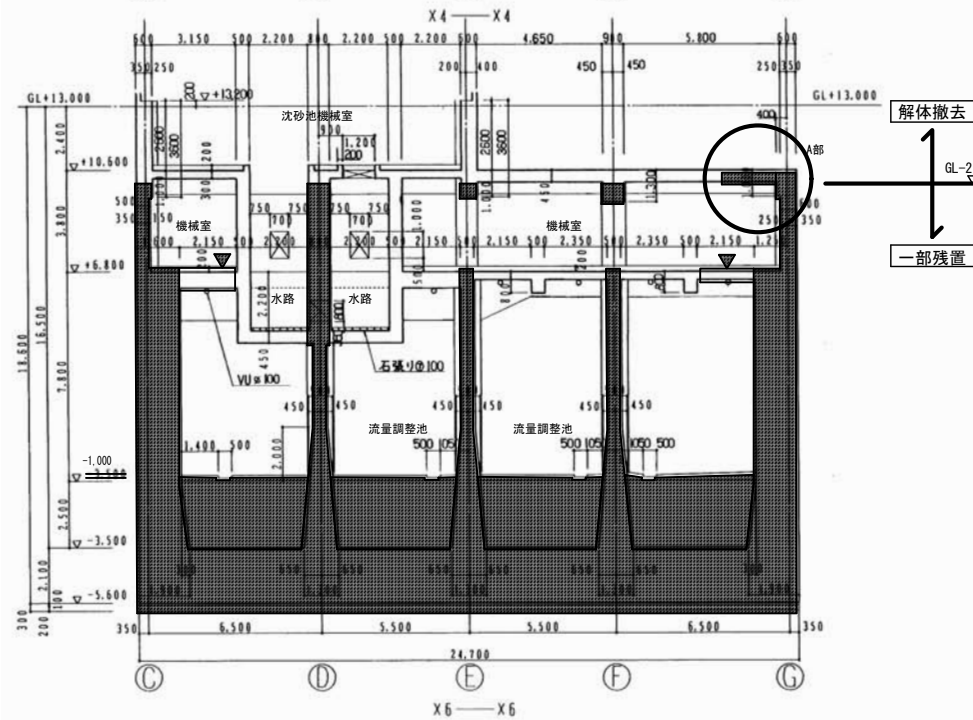
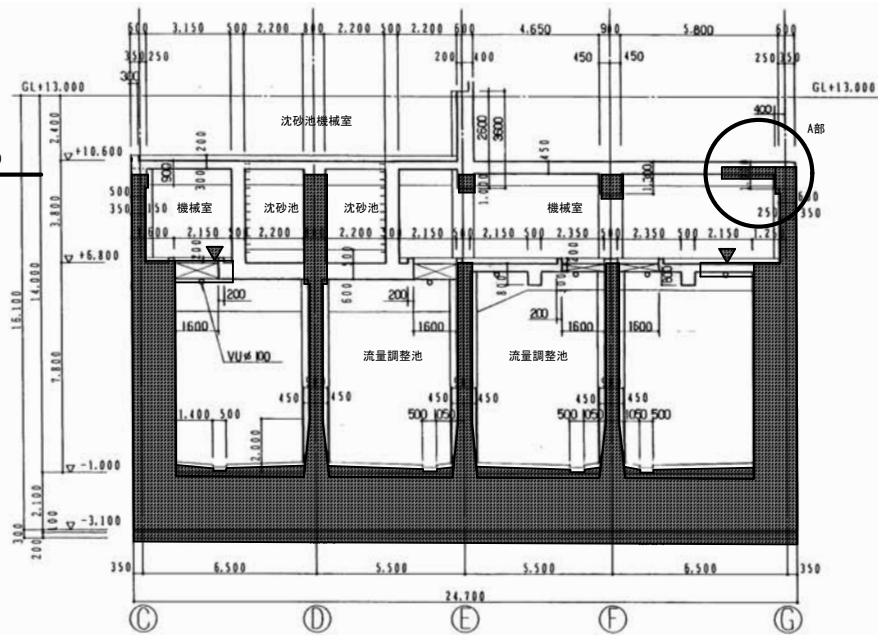
特記事項

- ※ は、残置部分を示す。
撤去部分と残置部分の切離しはカッター切とする。
スラブは、
掘重機で吊ながらカッター切のうえ、切離す。
小割りは地上にて行う。
- ※ ▼ は、解体中、一部残置とするスラブを示す。
(切離しはカッター切とする。)
真砂土充填後、撤去とする。
(一部残置範囲は、下部 平面図による。)
- ※ 真砂土充填方法
スラブを最小限に撤去し、800mm程度毎に
転圧を行いつつ埋戻す。
- ※ 特記なき限り、GL-2,000より下部の
柱・大梁・壁は残置とする。
- ※ 足掛け金物は、すべて撤去とする。

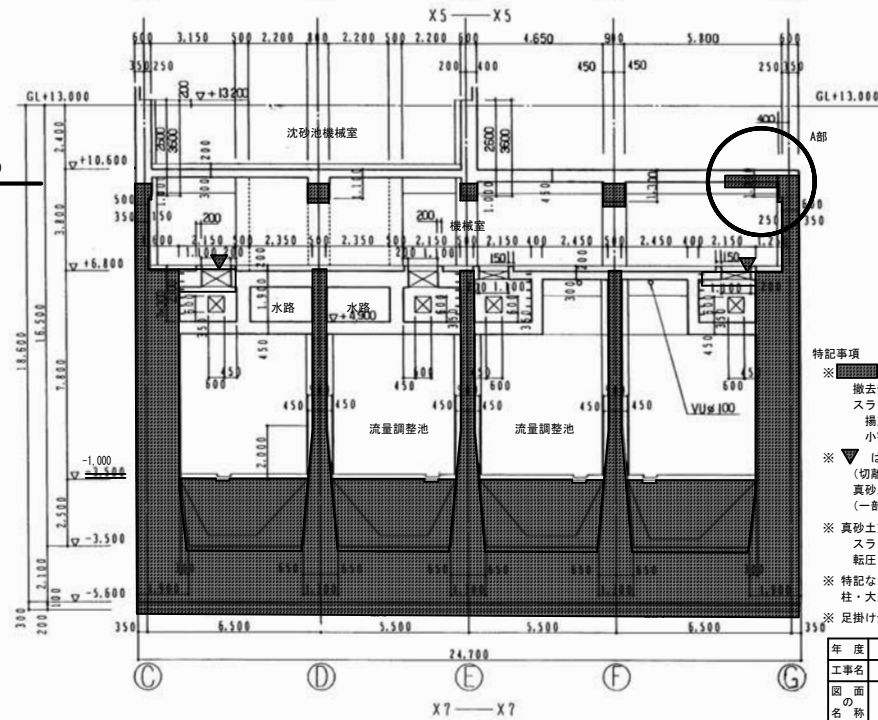
年 度	平成29年度	工事番号	
工事名	吹田市正雀調整池解体撤去工事		
図 面 名 称	【 流量調整池 】 (下部) X1～X3 断面図		
縮 尺	1/100	図面番号	A-52
吹田市下水道部			



解体撤去
↓
一部残置

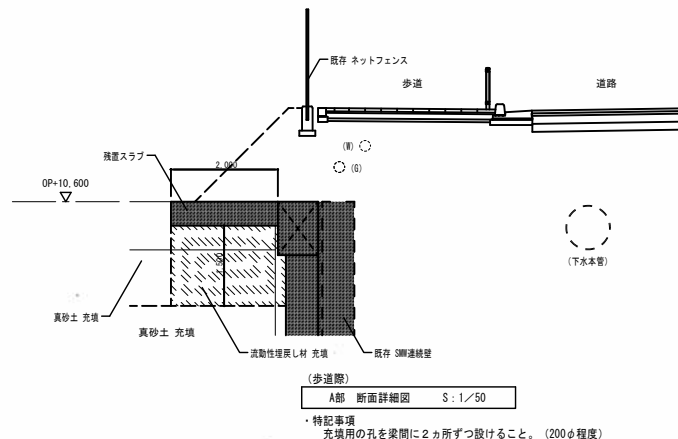
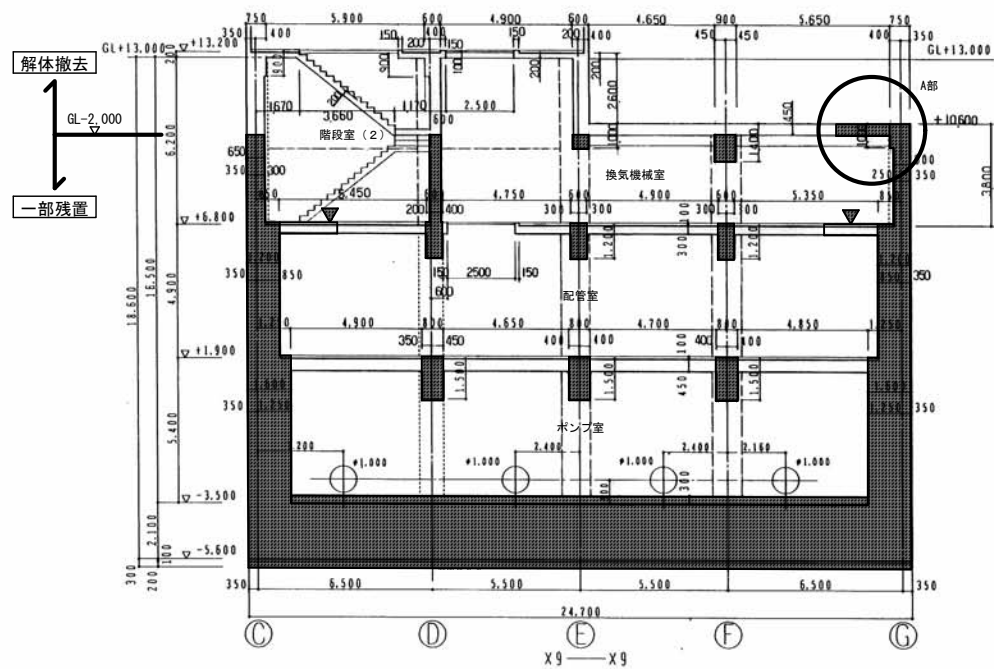
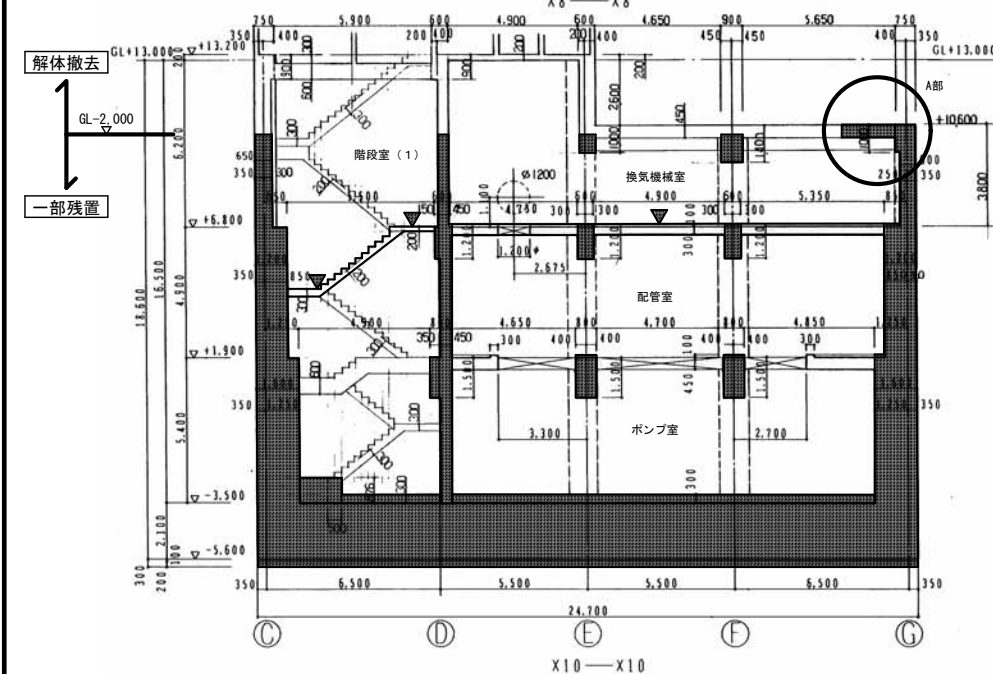
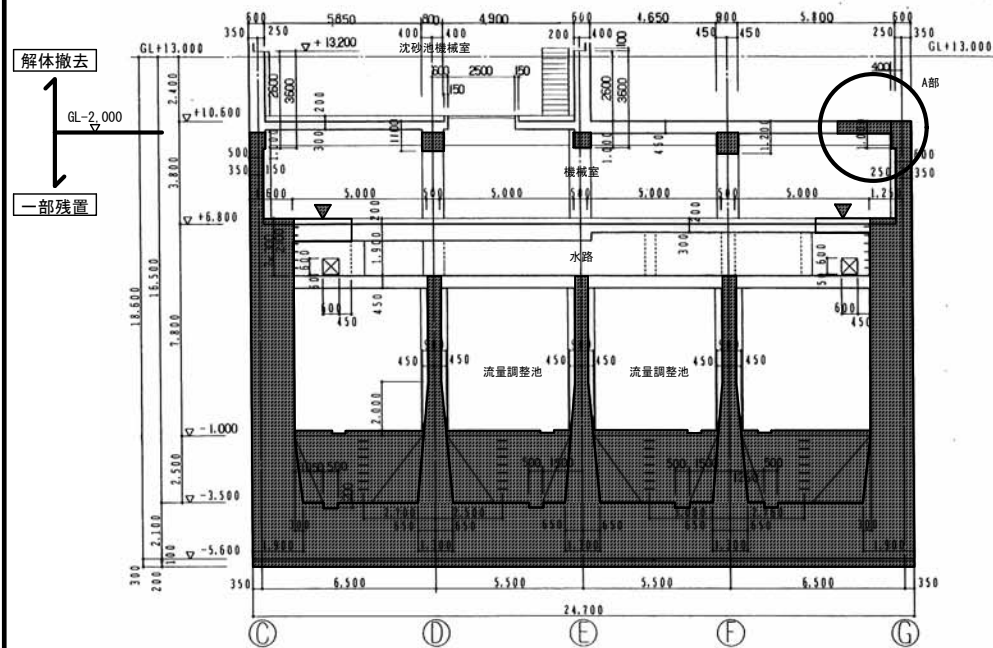


解体撤去
↓
一部残置



- 特記事項
- ※ は、残置部分を示す。
撤去部分と残置部分の切離しはカッター切とする。
スラブは、
掘削機で吊ながらカッター切のうえ、切離す。
小割りは地上で行う。
 - ※ ▼ は、解体中、一部残置とするスラブを示す。
(切離しはカッター切とする。)
真砂土充填後、撤去とする。
(一部残置範囲は、下部 平面図による。)
 - ※ 真砂土充填方法
スラブを最小限に撤去し、800mm程度毎に
転圧を行いながら埋戻す。
 - ※ 特記なき限り、GL-2,000より下部の
柱・大梁・壁は残置とする。
 - ※ 足掛け金物は、すべて撤去とする。

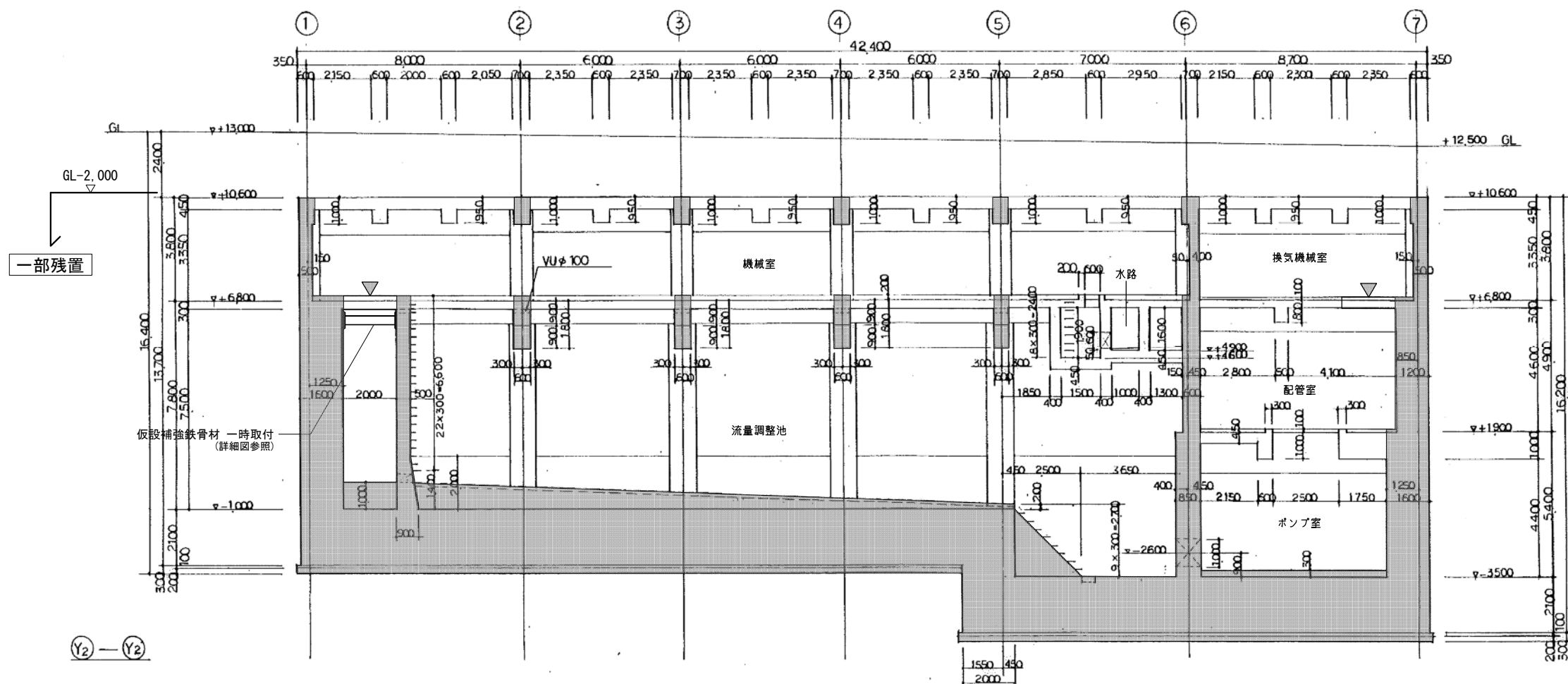
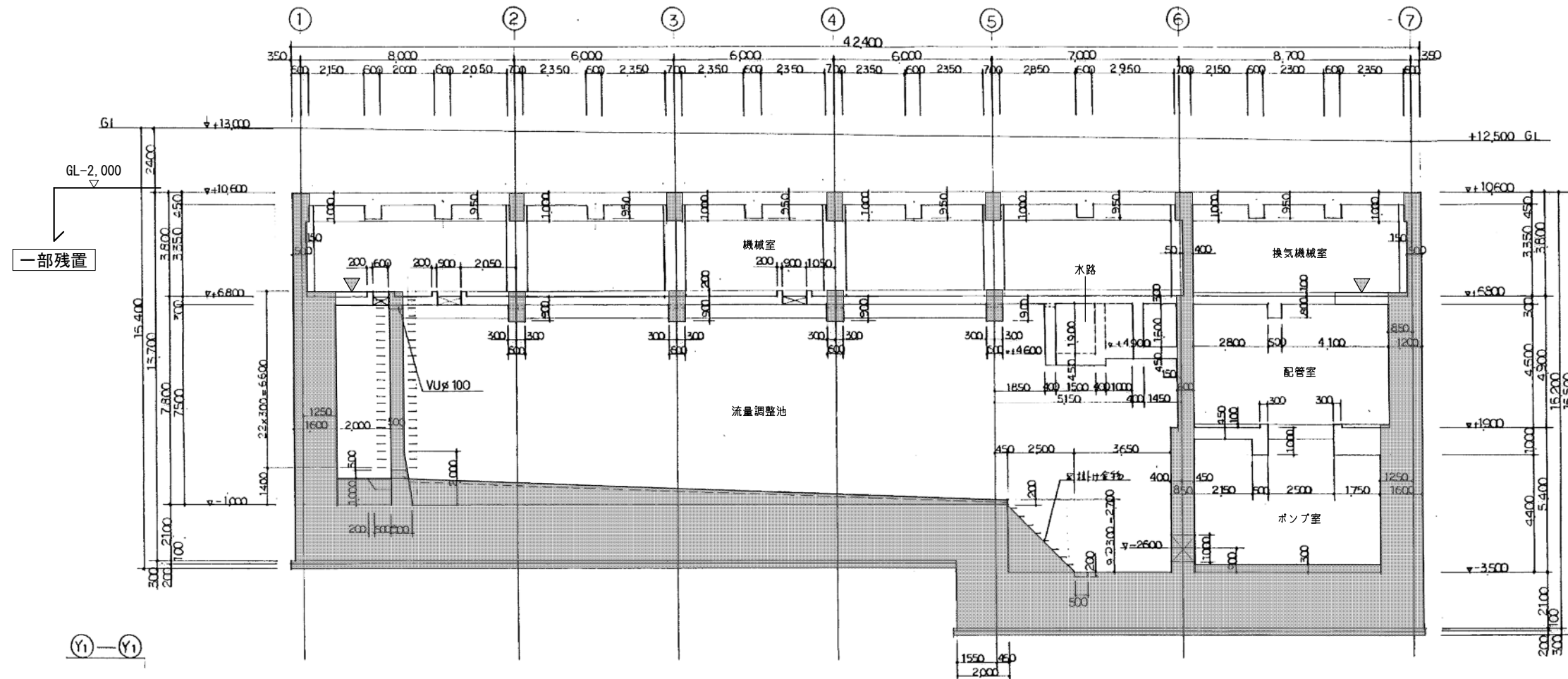
年 度	平成29年度	工事番号	
工事名	吹田市正雀調整池解体撤去工事		
図 面 名 称	【 流量調整池 】 (下部) X4~X7 断面図		
縮 尺	1/100	図面番号	A-53
吹田市下水道部			



特記事項

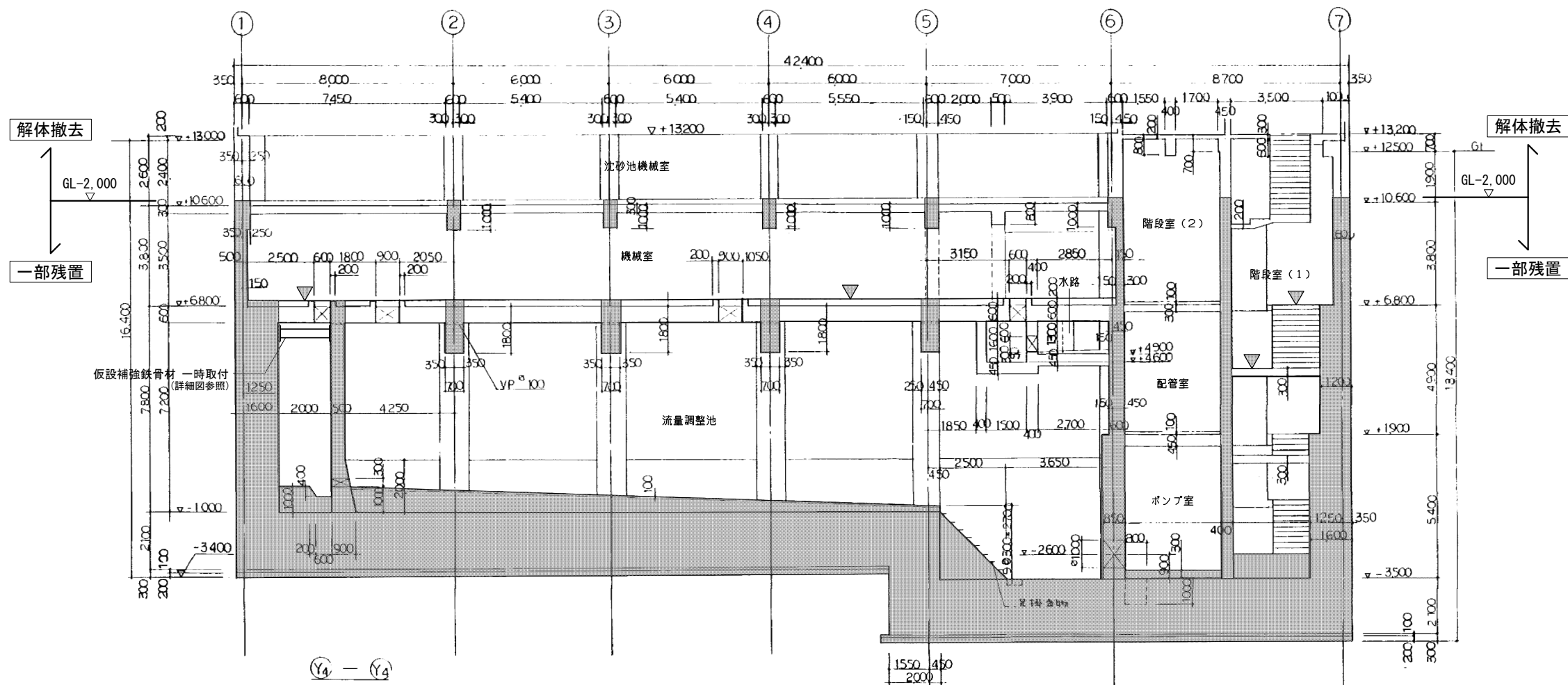
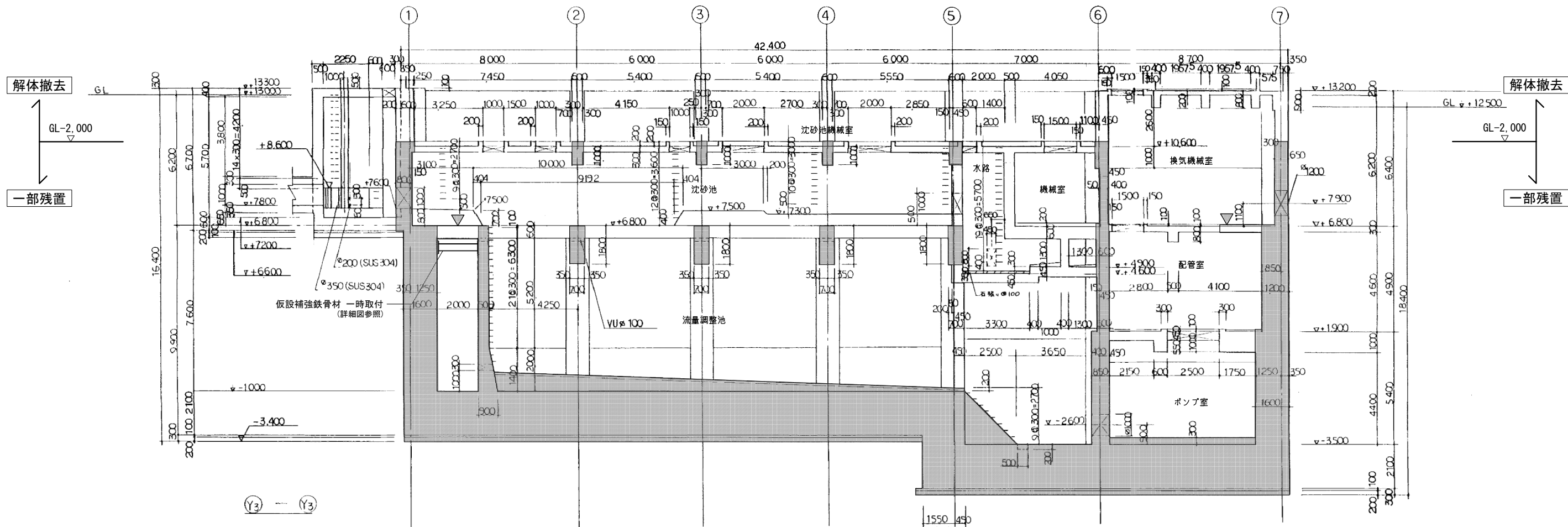
- ※ は、残置部分を示す。
撤去部分と残置部分の切離しはカッター切とする。
スラブは、
掘削機で吊ながらカッター切のうえ、切離す。
小割りは地上にて行う。
- ※ は、解体中、一部残置とするスラブを示す。
(切離しはカッター切とする。)
真砂土充填後、撤去とする。
(一部残置範囲は、下部平面図による。)
- ※ 真砂土充填方法
スラブを最小限に撤去し、800mm程度毎に
転圧を行いながら埋戻す。
- ※ 特記なき限り、GL-2,000より下部の
柱・大梁・壁は残置とする。
- ※ 足掛け金物は、すべて撤去とする。

年度	平成29年度	工事番号	
工事名	吹田市正雀調整池解体撤去工事		
図面名	【流量調整池】(下部) X8-X10断面図		
縮尺	1/100, 50	図面番号	A-54
吹田市下水道部			



- 特記事項
- * は、残置部分を示す。
撤去部分と残置部分の切離しはカッター切とする。
スラブは、
揚重機で吊ながらカッター切のうえ、切離す。
小割りは地上にて行う。
 - * は、解体中、一部残置とするスラブを示す。
(切離しはカッター切とする。)
真砂土充填後、撤去とする。
(一部残置範囲は、下部 平面図による。)
 - * 真砂土充填方法
スラブを最小限に撤去し、800mm程度毎に
転圧を行いながら埋戻す。
 - * 特記なき限り、GL-2,000より下部の
柱・大梁・壁は残置とする。
 - * 解体中、1～2通間に仮設補強鉄骨材を取付け、
真砂土充填後、撤去とする。
(仮設補強鉄骨 詳細図 参照)
 - * 足掛け金物は、すべて撤去とする。

年 度	平成29年度	工事番号	
工事名	吹田市正雀調整池解体撤去工事		
図 面 名 称	【 流量調整池 】 (下部) Y1、Y2 断面図		
縮 尺	1/100	図面番号	A - 55
吹田市下水道部			



- 特記事項
- * は、残置部分を示す。
撤去部分と残置部分の切離しはカッター切とする。
スラブは、
揚重機で吊ながらカッター切のうえ、切離す。
小割りは地上にて行う。
 - * は、解体中、一部残置とするスラブを示す。
(切離しはカッター切とする。)
真砂土充填後、撤去とする。
(一部残置範囲は、下部 平面図による。)
 - * 真砂土充填方法
スラブを最小限に撤去し、800mm程度毎に
転圧を行いながら埋戻す。
 - * 特記なき限り、GL-2,000より下部の
柱・大梁・壁は残置とする。
 - * 解体中、1～2通間に仮設補強鉄骨材を取付け、
真砂土充填後、撤去とする。
(仮設補強鉄骨 詳細図 参照)
 - * 足掛け金物は、すべて撤去とする。

年 度	平成29年度	工事番号	
工事名	吹田市正雀調整池解体撤去工事		
図 面 の 名 称	【 流量調整池 】 (下部) Y3、Y4 断面図		
縮 尺	1/100	図面番号	A-56
吹田市下水道部			